

「障がいの理解と社員交流会」を田町本社にて開催 9 月 14 日には名古屋でも初開催 ～新設の農場「ファミベジファーム」の自然栽培野菜を社内初販売～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：小谷建夫）は、2026 年 9 月に創立 45 周年を迎えます。継続して取り組んできた 5 つのキーワードを土台とし、「いちばんチャレンジ」を合言葉に活動しております。

このたび、「いちばん働きたい」を目指した取り組みの一環として、障がいに関する正しい知識と理解を深める社内イベント「障がいの理解と社員交流会」を 2026 年 8 月 25 日（火）に田町本社にて開催いたしました。また、2026 年 9 月 14 日（月）には名古屋の事務所にて初の開催を予定しております。

なお、当社の障がい者雇用率は 2026 年 6 月 1 日時点で 3.55%となり、今年 7 月に引き上げられた法定雇用率（2.7%）を大きく上回る水準を達成しております。



交流会の様子

■誰もが安心して働ける「心のバリアフリー」を目指す「障がいの理解と社員交流会」

ファミリーマートでは、2020 年より全社員を対象とした体験型の「障がい理解促進イベント」を継続開催しており、今回で 8 回目の実施となります。今年度は 8 月 25 日（火）に田町本社にて、車いす体験や高齢者疑似体験を実施し、日常業務での自然な「合理的配慮」の創出を目指します。

また、2026 年 9 月 14 日（月）には、愛知県名古屋市の当社事務所にて本イベントを初めて開催いたします。全国の事務所にいる一人ひとりの社員が、障がいの特性を「体感」して自分自身の「気づき」へ繋げ、相互に補い合う環境を創ります。

【田町本社イベント実施概要】

- 日時：2026年8月25日（火）14:30～16:00
- 場所：田町本社 9F
- 内容：車いす体験、高齢者疑似体験、農場スタッフによる収穫した野菜の対面販売会

■新農場「ファミベジファーム」の稼働と自然栽培への取り組み

障がいのある社員の新たな活躍の場として、2026年7月6日（月）より千葉県柏市に新農場「ファミベジファーム」を開設いたしました。株式会社ベジモ（代表取締役：小林寛利）と共に、無農薬、無肥料、種子消毒を行わない「自然栽培」による環境に配慮した農法に取り組んでおります。

本日の「障がいの理解と社員交流会」では、このファミベジファームで収穫された野菜を初めて社内販売いたしました。安心安全で誰もが働きやすい環境を整備するとともに、今後も地域に根ざした事業展開を図ってまいります。



■障がい者雇用率 3.55%を達成

2026年7月1日からの民間企業における障がい者法定雇用率は2.7%へ引き上げられましたが、当社の障がい者雇用率は、2026年6月1日時点で3.55%と、新基準を大きく上回る水準を達成しております。今後は「雇用の拡大」に加え、社会的な課題となっている「個人特性と実業務のミスマッチの防止」や「働きがいの創出（質の向上）」にさらに注力してまいります。

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニに、ファミリーマート」のもと、多様な人財が生き活きと働ける環境づくりを推進するとともに、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

<参考情報>

■「いちばんチャレンジ」に込められた思い

ファミリーマートは、2026年9月に創立45周年を迎えます。

時代の変化に合わせ、コンビニの枠を超えてお客さまに「いちばん」と選ばれる存在であり続けるため、私たちは「あなたのいちばんをたくさん作る『いちばんチャレンジ』」を新スローガンに掲げました。

この合言葉のもと、「おいしい」「ちょっとおトク」「わくわく楽しい」「ステキが見つかる」「革新的・最先端」「環境にやさしい」「働きたい」「地域に愛される」という 8 つの分野に基づき、ファミリーマート史上最大の挑戦を続けてまいります。

45 周年特設サイト:https://www.family.co.jp/campaign/spot/2026_45th.html